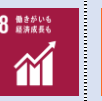
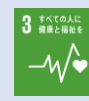
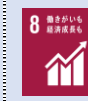
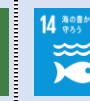
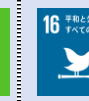


分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、会議での唱和等を行うことで、従業員にも浸透させている。 ・週に一度、数字目標の擦り合わせを行い、意識づけを促している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス研修を適宜行い、従業員への啓発を行っている。 ・事務所内などに法令遵守のPOPを貼り、目に留まるようにしている。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・朝礼やPOP等で従業員に公正な取引の重要性を示し続けるようにしている。 ・取引先等に、不当な値引き圧力がないかチェックしている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・対応する専任の従業員を任命している。 ・勉強会などを通じて、自分たちが及ぼす影響を良い視点と悪い視点で伝えるようにしている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産に関する、研修・勉強会を行っている。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧問弁護士と協力し、個人情報保護のための規定や仕事上での注意点などを、定期的な研修より学んでいる。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様とは、工事後のアンケートやアフターを通じて、双方向のコミュニケーションを重要視するようにしている。 ・取引先とも、対談の場を増やすように善処している。															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8			12	13	14	15	16	17

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・現在も障害者の雇用を行っているが、テレワーカーや業務委託などで、就業困難者のさらなる人材の確保が出来るようにしている。 ・社内でのコンプライアンス研修にて、ハラスメントも履修している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生の勉強会を行っている。 ・日々の業務の中で、責任者がOJTも行っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・マニュアルは無いが、従業員それぞれの適性をお互いに探り、OJTの中でトライ&エラーすることで、両者が前進できるように気を配っている。その中で同一労働同一賃金の原則に基づいて、評価をしている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・不規則な就業時間になることもあるので、労働時間の短縮やテレワークの対応など、従業員の負担が減るように、要望を踏まえたくうえで個々人に応じた勤務体制を、柔軟に対応するようにしている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社外コンサルの研修やセミナーへの参加などの必要経費を支給することで、自己啓発に専念できる体制を作っている。 ・必要な書籍・機材等の購入援助も行っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社外のメンタルケア専門の方へ従業員を紹介し相談に乗ってもらっている。 ・定期的に心と体の負担を発散できるように、社内イベントだが家族も参加できる、山登りやレジャー等を行っている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・雇用条件や昇進等に、差別的待遇は無い。 ・取引先にも女性の実業家は多く、今のコンサルも女性。 ・現在、障害者を一人雇用中。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・現在障害者の従業員は、フレックス制とテレワークを混ぜたような体制。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・現場の情報共有をメインとしたソフトを導入中。今後も推進していくことで効率化や、雇用体制の変革を考えている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物業者と連携のもと、従業員に工事ごみの分別など勉強会を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車のガソリン代と燃費は毎月計上し、会議で報告し各人が把握するようにしている。 ・社用車にハイブリッドカーを導入中。 【予定】来期からCO2排出量計算シートを活用し、見える化を推進する為に、2022年7月までにシートを試験運用する。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車にハイブリッドカーを導入中。ガソリン使用量・CO2使用量の削減を目指している。 【予定】来期からCO2排出量計算シートを活用し見える化していく為に、2022年7月までにシートを試験運用する。							7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・動物・植物と触れ合うワークショップに参加して、自然環境の大切さを感じてもらっている。 ・マイバッグ・マイ箸・マイ水筒を支給している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化・裏紙の利用などを促進している。 ・マイバッグ・マイ箸・マイ水筒を支給している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事務所内に節水機器を導入している。 ・商材が節水型設備を扱っており、施工実績も多数ある。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.a					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙利用を推進している。 ・エコアクション21に基づき、社内POPにて啓蒙している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所前の植栽に取り組んでいる。 ・従業員に植物のワークショップに参加してもらい、植栽・園芸への興味・知識を深めてもらっている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・施工時のリスク対策は、勉強会・OJTで常に学び、意識するようにしている。 ・工事後のアンケートやアフターの訪問時に、感想ご意見を伺い、社内 で共有し活用している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環 境整備を行っている。	●		・リフォームご依頼時には、段差の解消など、必ず今後のことを踏まえ たユニバーサルデザインのご提案をしている。 ・社内資料は、ユニバーサルデザインフォントの利用を推進している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県産木材の利用の推進。 ・まかないなどで、地元の野菜などを活用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木 質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んで いる。		●	・EV車の今後の普及も踏まえ、太陽光パネル設置の推進をしている。 ・空き家対策のために、空き家の管理・不動産活用などの提案をしてい る。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、 地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活 動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、居住する地域の活動に参画するよう奨励し、就業体制 も合わせるようにしている。 ・ふるさと納税や寄付等に繋がる研修会を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減す るため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進め ている。	●		・定期的な防災訓練、防災グッズのチェック等を行っている。 ・災害に対応する保険を定期的に見直している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急 等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加し ている。		●	・定期的に、地域の雨漏り調査を無料で行い、ご相談に乗っている。 ・火災保険の見直しなど、セミナーや個別での相談に乗っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・雨漏り修繕の業務をしているなかで、風災害対策の施工も行ってい る。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGs の普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・従業員や顧客に対して、SDGs普及啓発やセミナーなどを行ってい る。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域 の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産 業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17